

『企業が生き残るために』(6回シリーズの第2回)
環境変化(外部環境)について

著者: 経営創研(株)

代表取締役会長 山口 庸一

第2回(6回シリーズ) 環境変化(外部環境)について

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし」。方丈記の冒頭部分であります。日本人は、自然の中に「無常観」を感じ、変化への対応について、ある意味当たり前の事として捉えていました。企業経営についても然りで、環境変化に如何に対処するかは、企業が生き残る上で、必須条件となります。

企業の外部環境分析としては、PEST分析というものがあります。P(Politics、政治)、E(Economics、経済)、S(Society、社会)、T(Technology、技術)の4つになります。

企業経営では、この中で政治、法規制にまつわる変化と、技術情報の変化が特に大きな影響を持つこととなりますので、それについて、解説して行きます。

1) まずは、法規制に関してです。直近の法規制情報としては、改正個人情報保護法の施行が、平成29年5月30日にありました。この改正では、全ての事業者が対象になっている事に大きな特徴があります。それ以前の個人情報保護法では、大手企業に限定されていましたが、改正個人情報保護法は、小規模事業者にも対応を求めています。改めてこの改正内容に触れてみたいと思います。

対処すべきポイントは、4つあります。

①個人情報を取得、利用する場合に利用目的を通知、公表すること、②安全管理措置を講じること、③他人に渡す時の対応(第三者提供)、④開示請求への対応です。

現実問題として、日ごろの業務遂行に関して、不都合があるかと言えないでしょう。

ただし、安全管理措置に不備があり、サイバー犯罪に利用されてしまった場合、法律の処罰を受けてしまうこととなります。法規制情報については、弁護士、社労士、中小企業診断士など士業専門家や、公的機関(商工会議所、産業振興センターなど)から情報を入手して、どう対処すべきかについても情報収集する必要があります。

2) 技術情報に関しては、事業活動に大きな影響を与えるものです。技術革新は、過去の延長線上にない変化となるために、今までの技術（製造）、設備が全く役に立たなくなる可能性があるからです。

音響機器は、真空管が主力の時代がありました。真空管が、トランジスタに代わり、半導体、IC チップに代わって行きました。

部品は、小さく省電力になって行きます。当然ですが、これらの部品を利用するためには、製造方法が全く変わってしまいます。この変化にどう対処すれば良いのでしょうか。

情報収集して変化に備えることも当然必要ですが、次の技術に移り移る決断をすることです。

大手玩具メーカーの下請けとして、事業を営んでいた A 社は、今は建設資材の部品メーカーとなっています。この間に額縁生産、フレキ加工と、業態は二転三転しながらも会社は存続しています。節目の際には、親企業が海外移転の決断をして、国内生産がゼロになってしまい、その都度この大きな変革に対処してきたのです。どうやって生き延びてきたか社長に伺ったところ、直感力と決断だったと言います。どういった直観力かと言えば、この部品生産が当社でできるのか、商売が成り立つのかを判断する力です。情報量が少ない中での決断ですから、何かを頼りに決断するわけですが、一つ紹介しますと、新たな仕事先の下請け企業社長の自宅を探して、見て回りその社長がどんな車に乗っているかで判断したのだと言います。何軒か回り、ベンツに乗っていることが分かり、その業界の下請けでも生き残れるであろうと確信したと言います。将来は、保証されているわけではないが、自らが覚悟を決めて進むことができれば、少なからず成功には近づくことになるのです。

3) 社会 (S) と経済 (E) に関しては、業界動向にこれらは反映されますので、業界動向を如何につかむかということになります。

家電業界では、東芝の経営危機、シャープの身売り話しは、業界全体にも少なからず影響を与えたと思います。業界再編といった動きについても、事前の情報収集もさることながら、社長の決断と結果を信じて行動する行動力が問われているのです。

今回は「環境変化（内部環境）について」をテーマに解説します。

===== お知らせ =====

■ボード型マネジメントゲーム：経営特くんゲーム リニューアルのオープン！！ 予告■
61回の開催実績を持つ「経営特くんゲーム」のトライアルコース、インストラクターコース

今回構成内容を一新して再開します。

<対象者> インストラクターを目指す方。中小企業で OJT。税理士・診断士等で普及を

目指す方。経営支援メニューをパワーアップしたい方。

◆◆◆◆本格的な経営特くんゲームを体感できます。◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

電卓およびPC機を持参ください。(エクセルによる自動決算を行うため)

- ・認定インストラクターとなって、Hosbizよりインストラクターの受託ができ、経営特くんゲームを普及できる方

インストラクター養成コース・トライアルゲーム 10:00~17:00

1) 第64回 平成18年03月08日(水)、19日(月) (2日コース)

(注:03月08日だけの参加もOKです)

2) 第65回 平成18年03月24日(土) (1日コース)

3) 第66回 平成18年04月21日(土) (1日コース)

●参加費用 1,000円(資料代)

●開催場所「経営特訓道場」

JR駒込駅南口 徒歩7分 東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩6分

●認定インストラクター登録後は、基本ルールを守りながら、自主的に講座を開設できます。
(料金・ローカルルールを裁量で決める)

Hosbizが講座の運営を支援します。

アマゾンから出版!! (定価 800円(税別))

「世のため人のため」経国済民のイノベーション

◆◆◆ 理念経営のすすめ方 改訂版 /アマゾン版 ◆◆◆

「清貧」の時代から「清豊」の時代へ

中小企業で働く人々が幸せないと、日本は良くなるしない。

中小企業ファースト!

中小企業家、経営支援家、クリエイター、ライトワーカーのための
ワクワクする生き方ガイド

著者 43年間倒産ゼロの実績を持つ経営支援家

Captain 平本 靖夫

=====

MSDN セミナー （詳細は下記の URL からチラシを参照ください）

- ◆ 講話 ◆ 理念経営のすすめ方の基本理念を解説（10回シリーズ：月に1回）。

あなたの魂に呼びかけます。私たちの存在理念は何か？ 生まれ来た意義は？

- ◆ 講師 ◆ 著者の Captain 平本 靖夫

- ・日時：第3回 2018年3月15日（木） 16時～18時。その後懇親会にて交流（別料金）
- ・場所： 中小企業マスタースクラブ 研修室
160-0004 東京都新宿区四谷3-1-11 山一ビル 6F
丸の内線 四谷3丁目 2番出口 地図は下記のUEL 参照ください。

URL：http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723/pdf_1_129.pdf

- ・参加費：1回当たり1,000円（税込み）、☆教本はアマゾンで購入してください

- ・日 程（毎月 第3木曜日）

- 第4回 2018年4月19日（木） ニューリーダーの条件
- 第5回 2018年5月17日（木） 企業の進化・発展・持続と理念経営
- 第6回 2018年6月21日（木） コマ型企業論と理念経営
- 第7回 2018年7月19日（木） 企業進化論と理念経営
- 第8回 2018年8月16日（木） 経営計画の構造と基本手順
- 第9回 2018年9月20日（木） 理念経営を体得する

- ◆2018年10月19日（金） 第5回 Next30 ビジネス交流発表大会
- 第10回 2018年11月15日（木） 人類の総意が世界の未来を拓く

下記の案内兼申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAXにてお申込み下さい。

URL：http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723/pdf_1_128.pdf

経営環境の創出・適応して「安心・安全」の企業経営ができる、お役に立ちますように

「中堅・中小企業“かかりつけ医”ネットワーク＝MSDN」を構築推進しております。

◆企業経営の「安心」とは、いつでも経営者が使えるキャッシュが手許にあることです。「安全」とは、企業経営のカジ取り（行き先・アクセル・ブレーキ）を、先を見通したマネジメント会計情報（注）をもとに、行うことです。

（注）経営者の意思決定に役立ち、キャッシュフローを「安心」の状態に保ち、収益力を高めるための、部門別（部署別・商品別・得意先別・仕入先別等）の管理会計のことです。税務会計との違いは、税務会計は過去の実績にもとづく納税計算が目的なのに対して、マネジメント会計は、現在・未来を見通して刻々と（即時に）経営情報を経営者に提供して、未来のビジネスチャンスの獲得やリスクに備えることができる点です。ライバルに差をつけるには、体得することがNO1になる条件であります。

=====

◆経営相談は

<http://xn--fiqzti72ae5m.net/> 中小企業。Net

の「お問合せ」を開き、必要事項をご記入のうえ、送信してください。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

<https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=300444>